

科目名	レクリエーション概論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格 必修				
授業概要							
現代社会の様々な問題や課題に対してレクリエーションの果たす役割を理解すると共に、レクリエーションについての基礎的な理論、及び支援の方法を学習する。							
到達目標				成績評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーションの基本的な考え方を理解する。</li> <li>レクリエーションを活用した支援の方法を理解する。</li> <li>レクリエーション事業の考え方や展開方法、安全管理について理解する。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験</li> <li>小テスト、授業内レポート</li> <li>課題</li> </ul>			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			30
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション（授業の内容、目的等についてのガイダンス）							
2) レクリエーションの語源・定義							
3) 遊びの価値							
4) レクリエーション運動の歴史とその背景①							
5) レクリエーション運動の歴史とその背景②							
6) 人を支える「支援者」にとってのレクリエーション							

7) ライフステージごとの課題とレクリエーションの関わり①	グループ活動
8) ライフステージごとの課題とレクリエーションの関わり②	グループ活動
9) ライフステージごとの課題とレクリエーションの関わり③	グループ活動
10) レクリエーション事業の考え方と展開方法	
11) レクリエーション活動の安全管理	
12) レクリエーション・プログラムの実際① 事業計画の企画	グループ活動
13) レクリエーション・プログラムの実際② 事業計画の実施	グループ活動
14) レクリエーション・プログラムの実際③ 事業計画の評価	グループ活動
15) レクリエーション・インストラクターに期待される役割 授業のまとめ	
授業外学習	
<p>授業計画に沿って、テキストの該当箇所を熟読し、授業内容の予習、復習を行なって下さい。 地域や学校等で実施されているレクリエーション活動に積極的に参加しましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：「楽しさをとおした心の元気づくり」～レクリエーション支援の理論と方法～日本レクリエーション協会編 参考書：「月刊 Recrew レクルー」日本レクリエーション協会編 適宜、参考資料（プリント）を配付する	レクリエーション演習Ⅰ・Ⅱ レクリエーション実習
備考	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「レクリエーション・インストラクター」の資格取得のための1科目に位置づけられています。</li> <li>・授業に対する積極的な「姿勢・態度・行動」を望みます。</li> </ul> <b>【オフィスアワー】</b> 弘中 陽子 hironaka@ube-c.ac.jp	